

(1) 事業の概要等

事業番号	B0902
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 (認知症高齢者見守りネットワーク事業)					担当部			福祉部		
	事業期間	平成2年度	～	令和6年度以降		担当課			地域包括ケア推進課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	9	展開 方向	2	担当係			福祉政策係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1	大	3	中	8
	根拠法令・個別計画	第8次小牧市高齢者保健福祉計画					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	認知症や認知症の疑いのある方が外出した際に事故等が発生して、賠償責任が課された場合の保障を行うことで、安心して住み慣れた地域で住み続けることができるようにする。										
	対象 (何・誰を対象に)	在宅で生活をしている方で、外出中に行方不明になる恐れのある認知症高齢者又は認知症の疑いのある市民。もしくは、若年性認知症者又は若年性認知症の疑いのある市民。										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和3年度の実施内容 認知症高齢者等見守りステッカー(以下「ステッカーという。」)の交付を希望する者に対し、地域包括支援センターの専門職が面談して日ごろの認知症の症状を確認して、ステッカーの必要性を判断。 ステッカーを交付した者のうち、認知症高齢者等個人賠償責任保険への加入希望者に対して、市が保険契約者となり、個人賠償責任保険に加入した。</p> <p>・令和3年度加入者数 236人 ※前年度からの継続者、年度途中廃止者含む。</p> <p>●直接経費(令和3年度) 保険料 263千円</p> <p>●直接経費(令和4年度) 保険料 336千円 ※当初予算額</p>										
受益者負担	無											

(2) 事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	-	-
			国・県支出金	千円	-	-	-	-	
			その他	千円	-	-	-	-	
			計(A)	千円	0	0	139	263	
			対前年比	%	-	-	-	89	
			予算額	千円	-	-	1,000	843	336
	人件費		正規職員	人	-	-	0.2	0.2	
			正規職員(平均賃金)	千円	-	-	1,497	1,497	
			その他職員	人					
			その他職員(時給×時間)	千円					
			計(B)	千円	-	-	1,497	1,497	
	事業費合計(C=A+B)			千円	-	-	1,636	1,760	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策		9		展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4		
1										
2										
3										

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4	
指標	成果指標	保険加入者数 (累計)	人	目標	-	-	150	250	350
				実績	-	-	148	236	
	活動指標	新規加入者数	人	目標	-	-	150	100	100
				実績	-	-	148	88	
単 事業 あたり	受益者数(a)	人		-	-	148	236		
			受益者あたり事業費 (=C/a)	円	-	-	11,055	7,458	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
事業の 評価	事業の達成状況と課題	<p>第8次小牧市高齢者保健福祉計画における認知症高齢者数は、今後も増加することが見込まれている。</p> <p>国がとりまとめた「認知症施策推進大綱」や愛知県が認知症対策の一層の推進を目的として策定した「あいちオレンジタウン構想」に基づき、第8次小牧市高齢者保健福祉計画においても、基本目標の一つとして「認知症の人とともに暮らすまちづくり」を掲げ、認知症の人が住み慣れた地域で生活することができるよう周囲でサポートする体制や環境を整える取り組みを進めている。</p> <p>令和2年6月から開始した認知症高齢者等個人賠償責任保険事業は、令和2年度、3年度ともに、目標値には届かなかったものの、概ね達成できた状況である。</p> <p>今後、認知症高齢者等が増加することが見込まれていることから、本事業を利用する認知症高齢者等も増加すると考えられるが、現状の加入状況を見ると、大幅な増加となっていないため事業の方向性は「維持」とするが、今後の認知症高齢者等の増加によっては、加入者が増加することにより予算の増額が必要になることから、事業を拡大する必要がある。</p>			
	今後の実施内容	<p>今後も申請窓口となっている地域包括支援センターと協力しながら、事業についての啓発を図るとともに、目標を達成できるよう周知・啓発に努める。</p>			
	事務事業評価による額	<table border="1"> <tr> <td>千円</td> <td>節</td> <td>細節</td> <td>細々節</td> </tr> </table>	千円	節	細節
千円	節	細節	細々節		